

# 静脈の特徴 数字に変換

## 高セキュリティー実現

富士通研究所は5日、手のひらの静脈画像に含まれている静脈の本数や方向などの情報を数字化した「特徴コード」を使った認証技術を開発したと発表した。一つの静脈画像からコードを複数作成できるため、情報漏えいなどがあった場合でも新しいコードをすぐに作成して使用できるなど高いセキュリティーを実現できるという。2015年度の実用化を目指している。

同研究所によると、従来の認証では静脈の形などの特徴を図示したパターン画像を使って照合する方法が用いられていた。この方法では一つの生体につき一つの情報しか得られないため、変更がきかないことや情報漏えいなどセキュリティ一面での不安もあったといふ。

そこで、同研究所は静脈の特徴を数字に変換して照合する認証技術を開発。また、スキャナーで手のひらの画像を読み取り、静脈の本数や方向などを数字化した特徴コードを作り事前に登録しておく。

照合の際には生成されたコードと、事前に登録されたコードとを比較して一致しない箇所を計算。それが一定数以下ならば本人と判定される仕組みになった。

コードに変換する条件を変更すれば、一つの静脈画像から複数のコードを生成することができます。さらに、特徴コードは数字の列なので、万が一流れ出したとしてもそこから静脈画像を逆算するといふことは

不可能という。同研究所のセキュアコンピューティング研究部の新田中祥子（）

（「画像を比較する必要がないため」非常に素早い照合が可能。デパート、コンビニ、ガソリンスタンドなど用途によって違うコードを登録しておけば、万が一流出してもそれぞれ全く違うで利用者としては心配なく使える」と話した。

## 富士通研究所が認証技術

崎卓主導研究員は5日、都内に開かれた記者会見で「（画像を比較する必要がないため）非常に素早い照合が可能。デパート、コンビニ、ガソリンスタンドなど用途によって違うコードを登録しておけば、万が一流出してもそれぞれ全く違うで利用者としては心配なく使える」と話した。

## バスコ発売

防災用 江崎グリコ

空パックのクリームサンドビスケット「バスコ」の販売を始めた。

江崎グリコが、アルミ真空パックのクリームサンドビスケット「バスコ」の販売を始めた。保存期間は從来のアルミ缶入りと同じ最長5年間だが、保管場所は半分程度のスペースで済むので、大量備蓄が可能。防災用の非常食として自治体や企業に売り込む。

6日には発売80周年を記念した特別味のバスコを再販売。ロングセラー商品のグリコによると、東日本大震災後に非常食の備蓄に対する意識が高まつたが、かさばるアルミ缶の改良を試みた。

バスコは栄養があり、販売を強化する。

グリコによると、東日本大震災後に非常食の備蓄に対する意識が高まつたが、かさばるアルミ缶の改良を試みた。

販売を強化する。



特徴コードで静脈認証する技術のデモンストレーションを行なう担当者

江崎グリコによると、東日本大震災後に非常食の備蓄に対する意識が高まつたが、かさばるアルミ缶の改良を試みた。

販売を強化する。

（江崎グリコ）

&lt;p